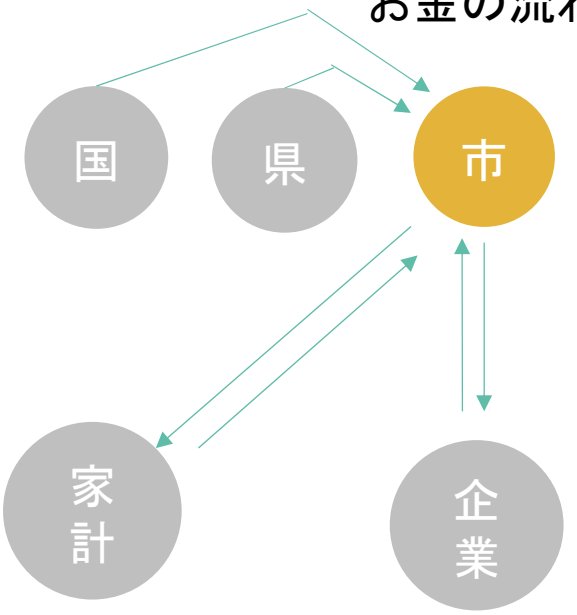
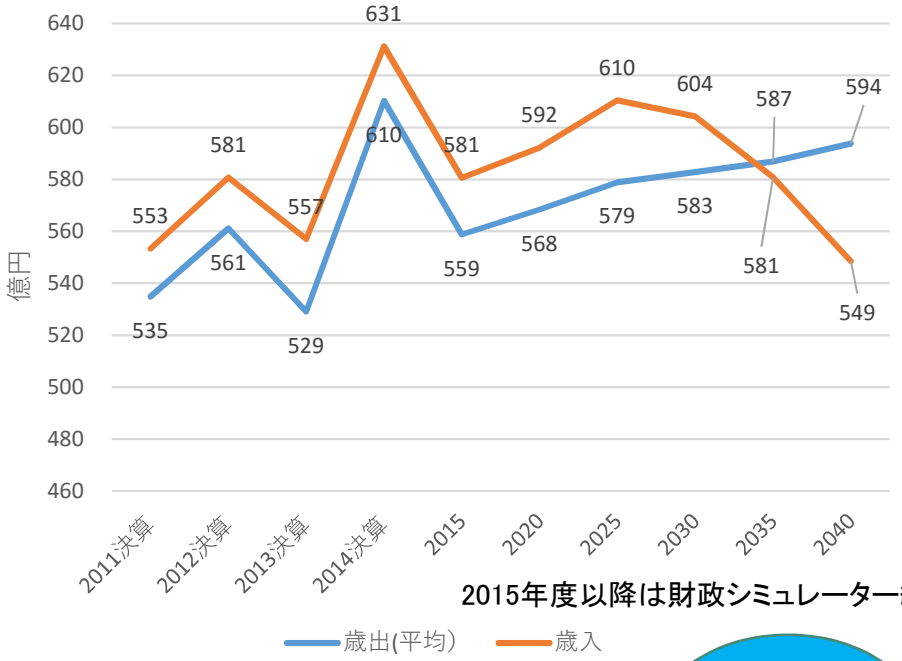
財政

お金の流れ



国・県・市がそれぞれ役割を果たすため、お金を集めて、使うこと。毎年、予算を立てて議会で話し合い、その結果にもとづいて運営されます。

地方公共団体の会計（財布）は、一般会計と特別会計に分けられます。他の団体と比較するために全国共通の基準による普通会計についてみてみましょう。現在、八千代市の普通会計は、一般会計と墓地事業特別会計を合わせた会計になります。



2015年度以降は財政シミュレーター結果

人口が減少していく中で歳入が減少していきます。固定的な経費が削減できなければ、2030年代に赤字になってしまうおそれがあります。

自由に使えない経費は？
（経常収支比率）

94.9%

全国の市町村平均 91.3%

千葉県内の市平均 91.5%

どのような経費にも使うことができる財源(一般財源)を、必ず使わなければならない使い道（義務的経費・経常的経費）に使っている割合。この割合が高いほど、自由に使えるお金が少ないことになります。

借金の依存度は？
（公債費負担比率）

14.8%

警戒ライン 15%

危険ライン 20%

どのような経費にも使うことができる財源(一般財源)を、借金返済（公債費：地方債を借りたときに毎年返済のために支払う費用）に充てている割合。この割合が高いほど、借金で首がまわらないことになります。

八千代市の地方債残高 567億円

（出典）「八千代市の財政状況(平成26年度決算から)」平成28年3月財政課

さまざまな費用

八千代市の財政規模はおおよそ600億円だよ。

病院建設費　床面積1m²当たり約30万円

（日本医療福祉建築協会データより）

C労災病院　病床数400床　床面積30,059.91m²

病床数を400床持つ大きさの病院を建てようとすると、90億円くらいの建設費が必要

特別養護老人ホーム建設費　1ベッドあたり1,246万円

（日本医療福祉建築協会2012年調べ）

1000人収容できる特別養護老人ホームを建てようとすると、125億円くらいの建設費が必要

30年間で返済する借金（地方債など）で賄う場合、建設費を30で割った額が毎年の返済額概算となります。

経常的な費用

公有財産建物の維持費概算　年間約39.6億円
市町村道の維持費概算　年間約9.3億円
ごみ処理費用　年間約45.2億円

地元の資源を活用した収入可能性

農家収入（2005年）　年間約41億円
再生可能エネルギー売電収入概算（2014年度）太陽光：24円、風力：22円、地熱：26円、水力：24円、バイオマス：24円（1kWh当たり）と仮定
年間約4.5億円
再生可能エネルギーをすべて地元で使った場合の省エネ可能性概算（2014年度）年間約10.1億円

つながり

ご近所や友人、知人との「つながり」が注目されています。
日々の情報交換、ちょっとした困り事から子育てや介護などの様々なサポート、
転機となった重要な助言、新しい人やイベントの紹介、災害時の助け合い・・・
人と人との「つながり」が私たちの生活を支えています。

こうした人と人との「つながり」を調べるために、次のような質問を作成し、八千代市で調査を行いました。

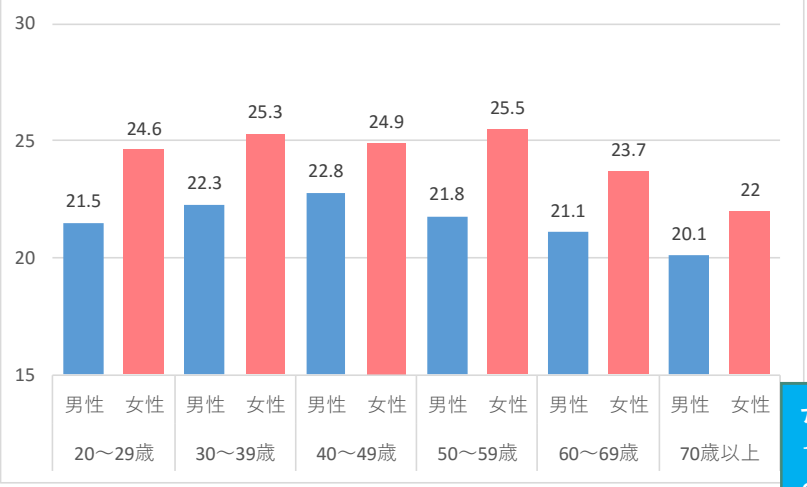
質問：あなたには次のような知り合いはいますか？（知り合いには家族も含みます）

1	おいしいお店（レストラン等）を教えてもらう
2	パソコンや携帯電話（スマートフォンなど）のトラブルが起こった時に頼りになる
3	趣味に関する情報を交換する
4	病気の時などに自分の代わりにちょっとした買い物が頼める
5	自分で運転できない時（免許がない場合）に、自動車で目的地まで乗せていってもらえる
6	お互いの家族構成を把握している
7	お互いに近況を確かめ合う
8	災害時の避難場所や安否確認方法の情報を共有している
9	旅行・帰省等で家を長期に留守にする際に、水やりなどちょっとしたことをお願いできる
10	災害時に必要な物資を送ってくれる
11	一緒に地域の活動（お祭りやボランティアなど）をする
12	一緒に趣味を楽しんだり、体を動かしたりする
13	自分や家族を日常的に気にかけてくれる（見守ってくれている）
14	地域の自然や環境、歴史について一緒に話をする
15	自分とは異なる価値観や経験を持った知り合い
16	おすそわけをしあう
17	使わなくなったもの（子どもの服や電化製品など）を譲ってくれる
18	困った時に少額のお金を貸してくれる
19	保証人になることを頼める
20	自分や家族の就職先（パート、アルバイトを含む）を紹介してくれる
21	一緒に食事や飲みに行く
22	悩みや愚痴を聞いてもらえる（気持ちが楽になる）
23	自分が対応できない時に（一時的に）家族の世話（介護、子どもの世話、家事など）を頼める
24	評判の良い病院、介護施設、保育所、支援組織・制度、（学校・塾）などの情報を教えてくれる
25	自分が病気や障害を抱えた時に物理的なサポート（介護等）を頼める
26	英語の通訳や翻訳をしてもらう
27	お金に関するアドバイス（保険や投資、借金など）をしてくれる
28	自分の良い所も悪い所も尊重してくれる（受け容れてくれる）
29	気軽に何でも聞ける物知りな知り合い
30	お互いを高め合う知り合い

この30項目のリストは、八千代市で開催された
つながり座談会での意見を参考に作りました。

上記の30項目のうち、「そのような知り合いがいる」と答えた数を調べてみると、次のページのような傾向がわかりました。

男性より女性の方が頼りになる「つながり」の数が多く、70歳以上は「つながり」の数が他の年代を大きく下回っています。

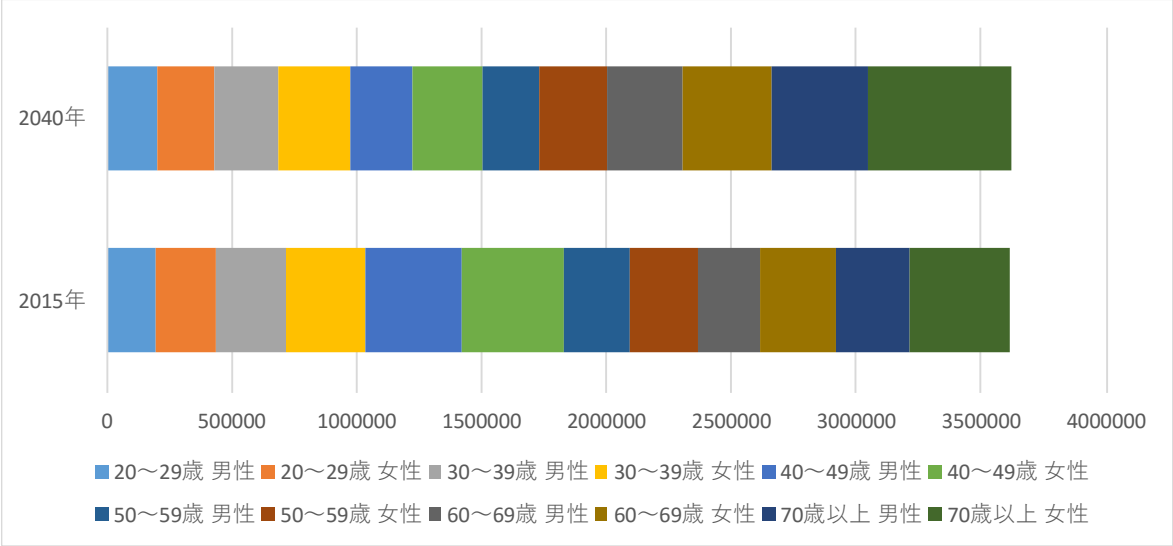


八千代市の性別・年代別のつながり数の平均

定年退職、子どもの独立、配偶者・知人との死別、知人と会う頻度の減少などが高齢者の「つながり」の少なさに影響していると考えられます。

ちなみに、
1人暮らしの人の平均は17.4、
2人暮らしの人の平均は23.4、
3人暮らし以上の平均は24.0です。

この結果を2015年と2040年の八千代市の人口に当てはめると以下のようになります。
（ただし、20歳未満を除く）



八千代市における「つながり」の総数（2015年、2040年）

「つながり」の総数はほとんど変わりませんが、「つながり」の平均が少ない70歳以上の人口が増えるため、1人あたりの「つながり」数は減ります。

今回の予測では考慮しませんでしたが、1人暮らしの高齢者が増えることが予測されているため、1人あたりの「つながり」はさらに減るかもしれません。

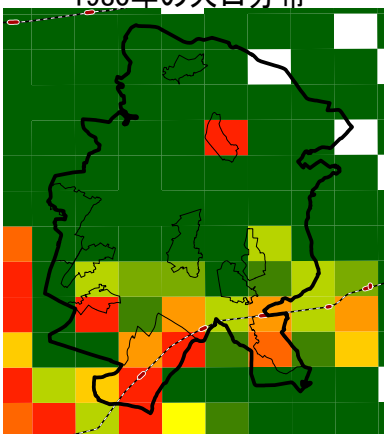
市内の人口分布と年齢構成

人口減少・超高齢社会とニュータウン

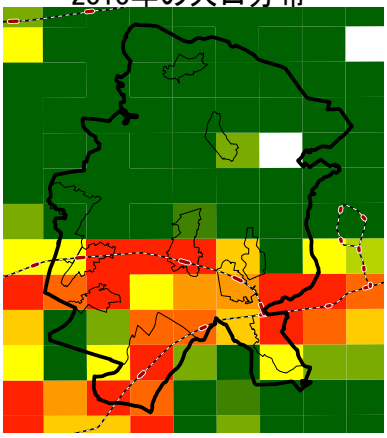
日本では、高度経済成長期に起きた大都市圏への人口集中による居住問題を解決するため、1950年頃から大都市郊外の丘陵地等に多くの大規模住宅団地、いわゆる“ニュータウン”が開発されました。

ニュータウンの多くは、開発時に“子育て世代”の人々が一斉に入居したため、住民の高齢化や子供世代の流出による人口減少が急激に進行しています。

1980年の人口分布



2010年の人口分布



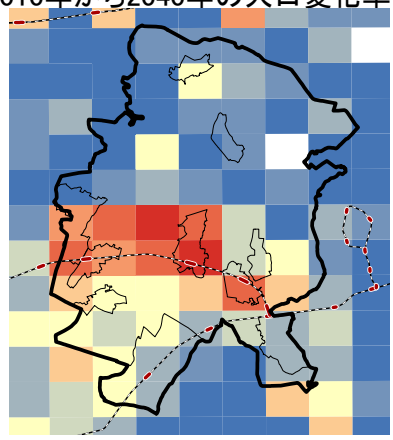
八千代市のニュータウンと人口分布

八千代市では、1960年頃からニュータウンが開発されてきました。

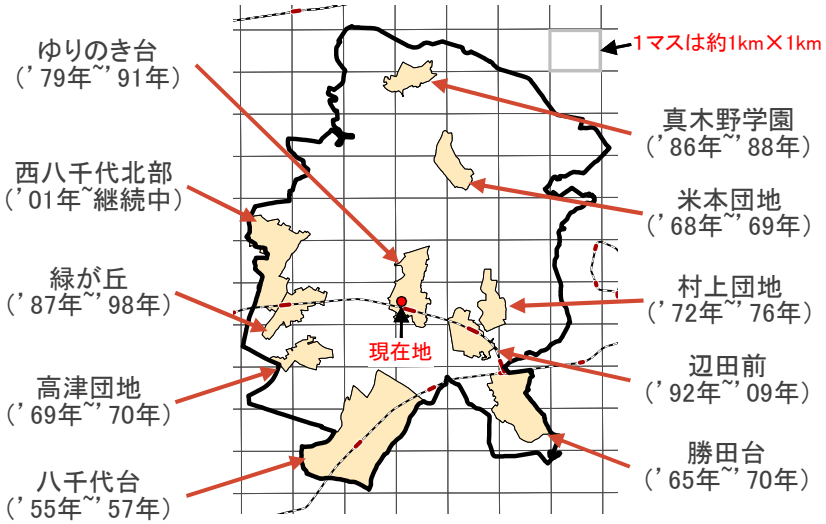
昔（1980年頃）は、京成本線沿線を中心に、駅から遠いところでも開発が行われましたが、現在（2010年頃）は、東葉高速線の沿線を中心に、駅前開発が行われています。

これから2040年の将来に向けて、開発時期が比較的新しい地区で人口が増える一方、古い地区では人口が減っていきます。

2010年から2040年の人口変化率



八千代市内の主なニュータウンと事業期間



地図の凡例

人口密度（人/km²）

- 0 ~ 3,000
- 3,000 ~ 4,000
- 4,000 ~ 5,000
- 5,000 ~ 6,000
- 6,000 ~ 7,000
- 7,000 ~ 8,000
- 8,000 ~ 9,000
- 9,000 ~10,000
- 10,000 ~

人口変化率（%）

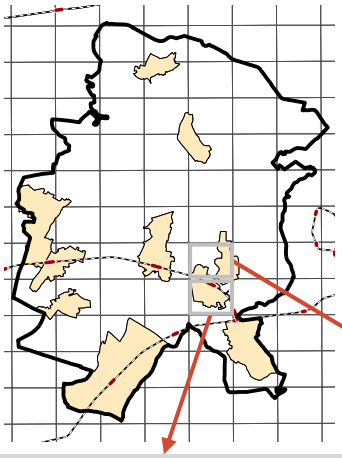
- ~ − 20
- − 20 ~ −15
- − 15 ~ −10
- − 10 ~ − 5
- − 5 ~ + 5
- + 5 ~ +10
- +10 ~ +15
- +15 ~ +20
- +20 ~

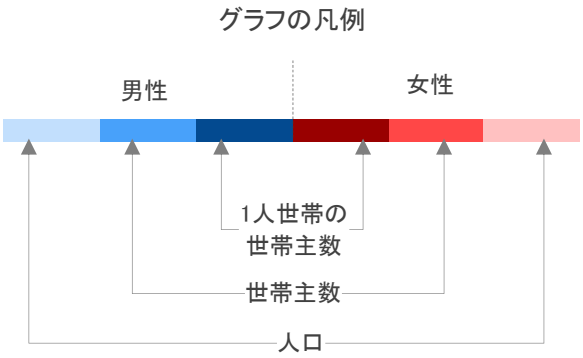
ニュータウンの開発時期については、国土交通省の公開資料（http://tochi.mlit.go.jp/shoyuu-riyou/takuchikyokyu）をもとに国立環境研究所が作成した。

ニュータウンの開発時期と住民の年齢構成

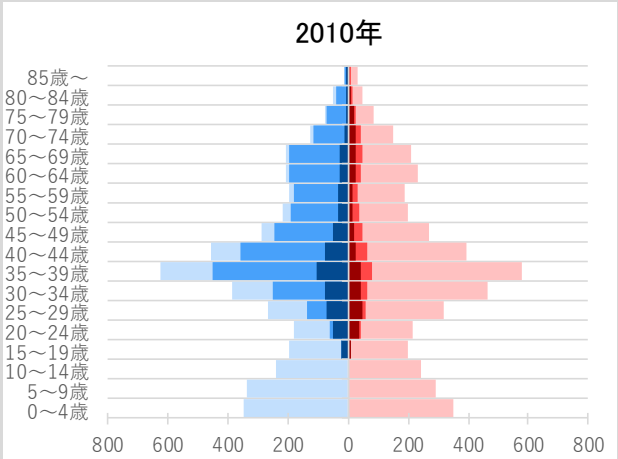
開発時期の古い地区で人口が減る理由について、東葉高速線の村上駅周辺にある2つのニュータウン地区を例に、詳しく見てみましょう。

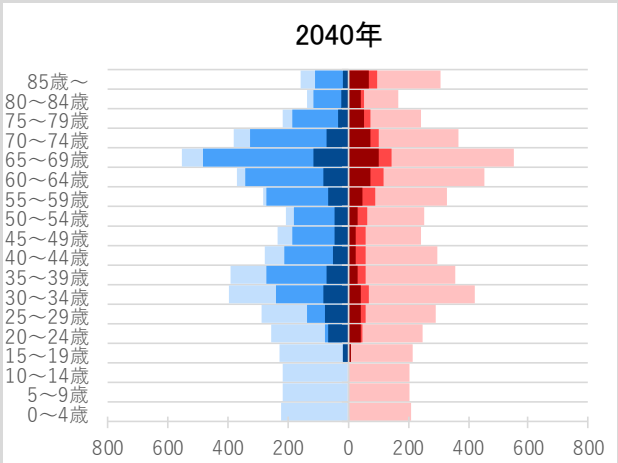
1970年頃に開発された村上団地を含む約1km²の範囲と、2000年頃に開発された辺田前を含む範囲の年齢構成を比較してみると、開発時期の古い地区では65歳前後の人が一番多く、新しい地区では40歳前後の人が一番多くなっています。早く開発された地区には、“子育て世代”の人々が少ないため、早く高齢化が進み、人口が減ります。



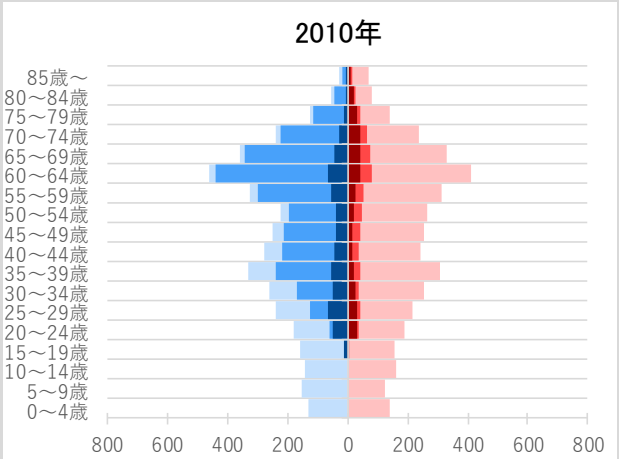


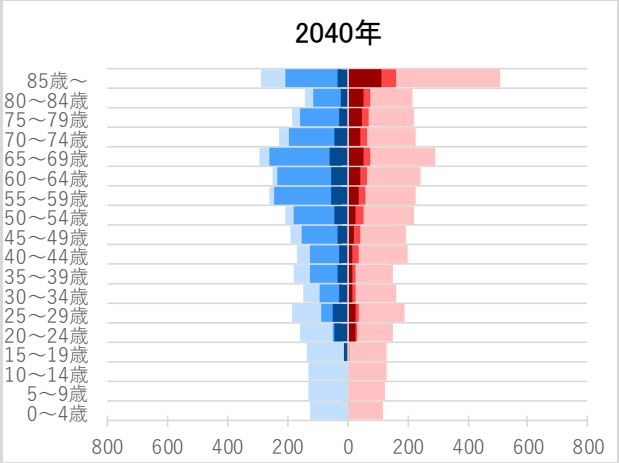
辺田前を含む約1km²の年齢構成





村上団地を含む約1km²の年齢構成

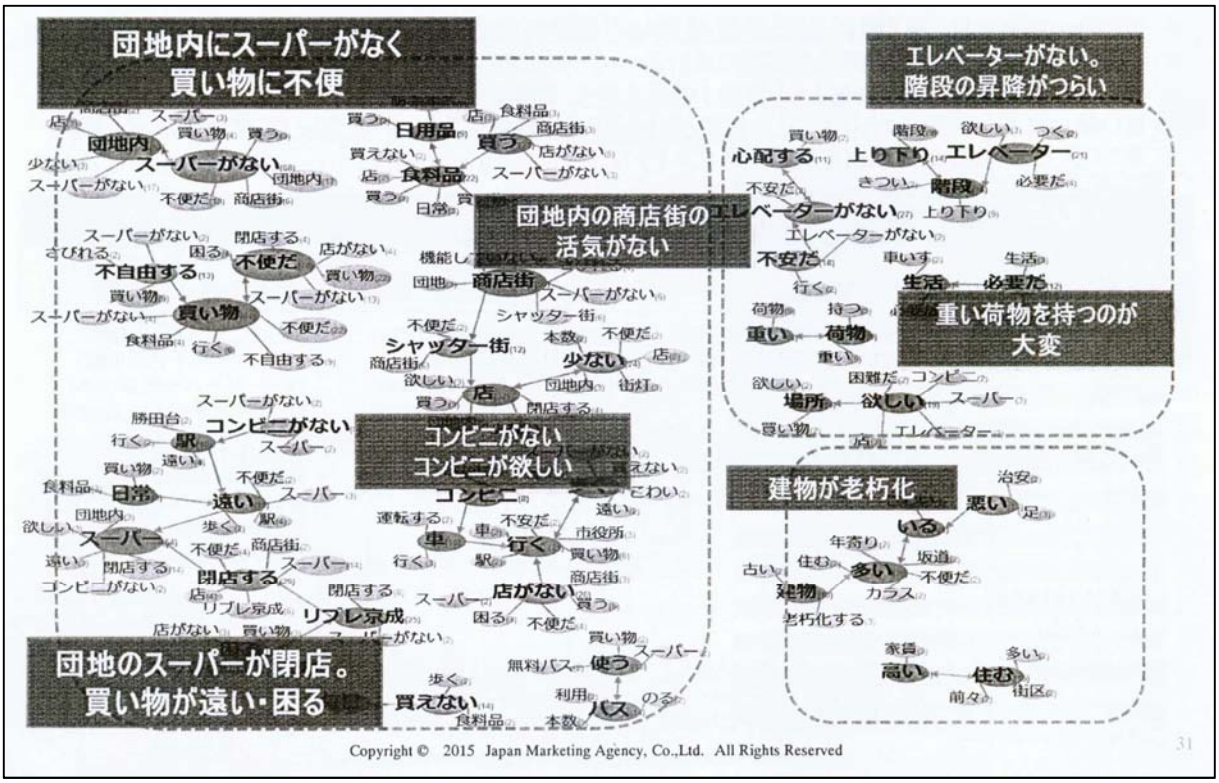




【このページのデータについて】
人口と世帯数は、総務省の国勢調査データを用いた。一部は、国立社会保障・人口問題研究所の推計方法にならい、国立環境研究所が推計した。

村上団地の現状と将来

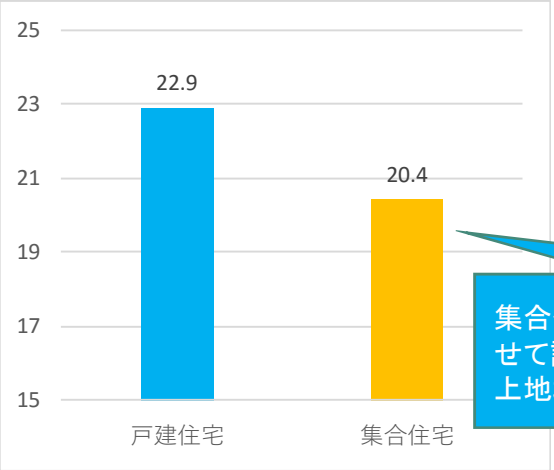
村上団地にお住まいの方は、買い物や移動に問題を抱えています。



（出典）ジャパン・マーケティング。エージェンシー（2015）「村上団地住人の生活調査」より

集合住宅（団地）のつながり

21、22ページと同じ調査の結果を、村上地域の「戸建住宅」と「集合住宅」とに分けて調べてみると、以下のような傾向がわかりました。



戸建住宅に住む人に比べて、
集合住宅に住む人は、
「つながり」の数が少ない。

集合住宅の団地のある村上地域、高津地域、阿蘇地域を合わせて調べてみると、戸建住宅は23.2、集合住宅は21.8となり、村上地域と同じような傾向となりました。

このような差が生まれた理由としては、(1)戸建住宅よりも集合住宅のほうが世帯人数が少ない(1人や2人暮らしが多い)こと、(2)集合住宅は賃貸で住んでいる人が多い(そこにずっと住まず、近所づきあいが少ない)こと、(3)そもそも集合住宅は近所づきあいが少なく、例えばフロアや棟が異なるとつながりが少ないこと、(4)エレベータなどがない集合住宅の場合、高齢者や身体が不自由になると外出が減ってつながりが少なくなること、などが考えられます。

村上団地の居住世帯数の変化 ~2010年と2040年の比較~

【グラフから分かること】

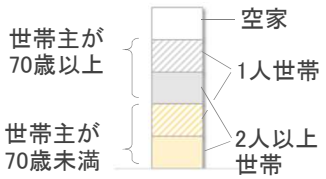
子育て世代の人が減り、70歳以上の1人世帯の人が増えます。

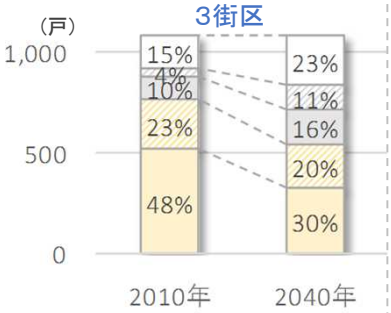
【 地図から分かること 】

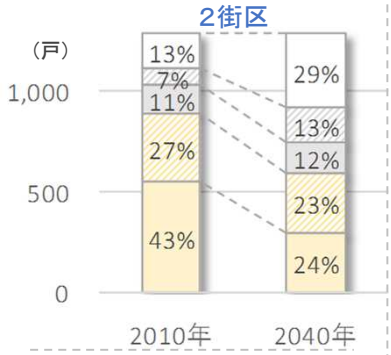
床面積の大きい賃貸住宅や駅から遠い分譲住宅で空家が多く、今後も増えます。

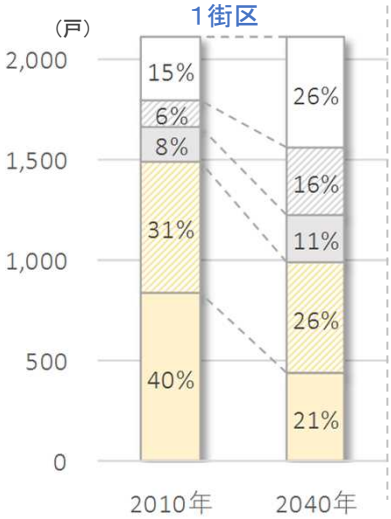
世帯類型の変化（街区別）

グラフの凡例

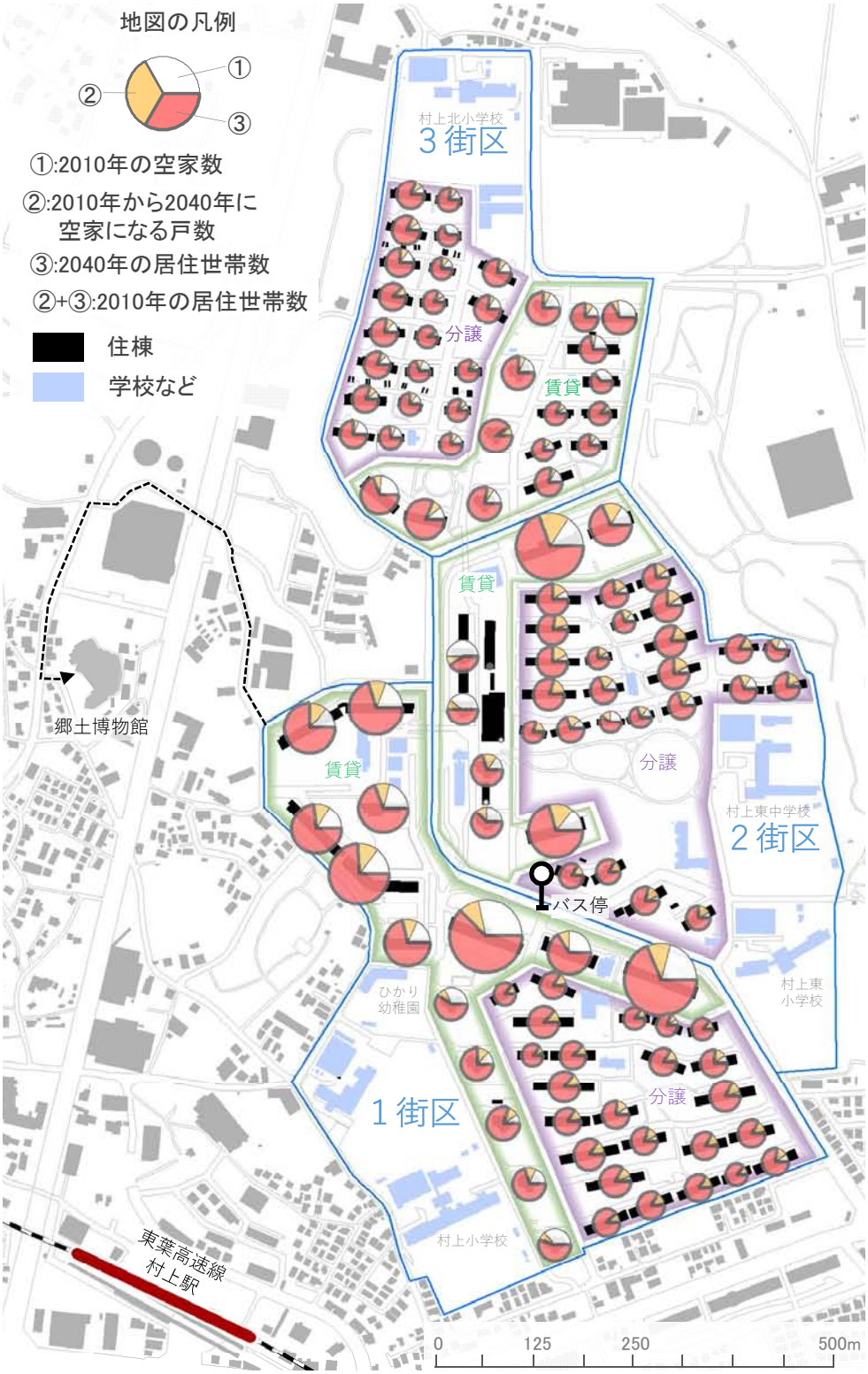








空家数の変化（建物別）



【このページのデータについて】
人口と世帯数は、総務省の国勢調査データを用いた。一部は、国立社会保障・人口問題研究所の推計方法にならい、国立環境研究所が推計した。
空家数は、株式会社ゼンリンのデータから住戸数を抽出し、世帯数との差を取る方法で、国立環境研究所が推計した。

八千代の歴史から未来を見つめる

八千代市立郷土博物館

八千代の歴史は３万年

八千代市域は、低い台地の間を新川とその支流が流れ、昔は湧き水もたくさんありました。豊かな自然に恵まれていたのでしょう。それを証明するように、およそ３万年前の旧石器時代の遺跡をはじめ、縄文時代の貝塚、弥生時代の村の跡、前方後円墳などの古墳や古墳時代の村の跡、奈良時代・平安時代の村の跡や戦国時代の城跡などが発見されています。また、それぞれの時代の土器や石器、石を磨いて作った飾り、鉄製の刀、文字が書かれた土器などがたくさん見つかっています。江戸時代には、大和田宿と幕府の馬の放牧地が有名となり、成田山詣での人びとで賑わい、また新川では治水工事が３回も行われました。現在は、首都 30 ㎞圏のベッドタウンとして、国道 16 号・296 号線、京成本線・東葉高速鉄道沿線などを中心としたまちづくりが進んでいます。そんな長い八千代の歴史からベスト４を選んでみました。

■戦国武将　村上綱清（むらかみつなきよ）　～織田信長の生きた時代～

室町時代の終わり（約５００年前）、現在の佐倉・八千代市一帯は千葉一族が支配していました。下総地域では、臼井（うすい）に城を持つ千葉一族の原胤貞（はらたねさだ）が勢力を伸ばし、一族の村上綱清という武将が米本（よなもと）に城を構え、村上一帯を治めていました。綱清の菩提寺（ぼだいじ）と言われる米本の長福寺（ちょうふくじ）には、立派な五輪塔（ごりんとう）（供養塔）が残されています。しかし、戦国の時代に生きた綱清は様々な戦に巻き込まれていきます。原氏は相模（さがみ）（神奈川）に勢力を持つ北条（ほうじょう）氏と手を結んだため、北条氏と対立する安房（あわ）（南房総）に拠点を持つ里見（さとみ）氏と戦いになります。村上綱清もその戦いに巻き込まれ、米本城はついに落城し、綱清は自害、奥方や家来７００名余りがその後を追ったといいます。

供養塔である五輪塔

■水害に挑んだ先人達　～治郎兵衛（じろべえ）と染谷源右衛門（そめやげんえもん）～

八千代市を南北に流れる新川は、今は大和田排水機場を境に千葉市の花見川とつながり、東京湾に流れ込んでいますが、半世紀前までは二つの川はつながっていませんでした。大雨があると印旛沼からあふれた水が新川に逆流したため、周辺の田んぼや民家は水浸しとなり、秋の収穫時に水につかった稲穂がだめになってしまうなど流域周辺の農家は苦労の連続でした。江戸時代には、この事態をなんとかできないものかと心を痛めていた平戸の染谷源右衛門は、ついに新川の川幅を広げ、さらに花見川とつなぎ、大水を海に流す計画を江戸幕府に願い出ます。幕府は水害が減れば、さらに多くの年貢を課すことができると

水害から市民を守る排水機場

考え、７０００両の資金を源右衛門に貸し与え工事を命じます。しかし大雨でまた堀が埋まってしまうなどの失敗が続き、工事が長引きます。源右衛門は自分の土地や家も売って工事を続けますが、ついに資金は底をつき、工事は中止になります。この後、島田の治郎兵衛らが絵図を作って対策を検討し、源右衛門から約５０年後、老中の田沼意次による２度目の工事が幕府主導で行われますが、彼が失脚することで中断。そこから約６０年後に老中水野忠邦の「天保の改革」として工事を行います。この時、幕府は財政難だったため、庄内藩など５藩の大名に工事を命じました。工事は完成に向けて進みますが、この時も水野忠邦が幕府内で失脚したことで工事は中断。この計画が実現するのは、源右衛門から約２４０年後の昭和４１年に、現在の水資源財団の進めた印旛沼開発工事により、八千代市内に大和田排水機場が完成したときでした。 昭和４３年に印旛沼のすべての治水工事が完成し、各施設が可動し始め、長年の水害の悩みからようやく解放され、現在の水害のない安心な八千代市が実現したのです。

■正岡子規も泊まった大和田宿 ～成田山詣で栄えた成田街道～

市内を東西に走る国道２９６号線は、通称「成田街道」と呼ばれ、江戸時代には佐倉道と呼ばれていました。成田市にある成田山新勝寺は歌舞伎役者の市川團十郎に信仰されたことから、江戸時代から大変人気があり、多くの参拝客が江戸から行徳、船橋、八千代、臼井をぬけて成田まで旅をしていました。その行程は、およそ３泊４日で、昭和の初めごろまで成田街道の大和田小学校付近は宿場町として賑わい、３～４件の旅館が軒をつらねていました。明治時代には歌人の正岡子規も房総一周旅行の時に大和田に泊まったという記録が残っています。大正１５年に京成線が開通すると、参拝者は電車を利用するようになり、宿場町の賑わいは消えていきました。現在は「八百屋お七」の墓があることで有名な長妙寺や円光院などの歴史ある寺院が当寺の雰囲気を今に伝えています。

街道の雰囲気を残す成田街道（昭和４０年頃）

■住宅団地発祥の地「八千代台」～八千代発展の基礎を築く～

昭和３０年、京成八千代台駅周辺が計画的に開発され、日本で初めての住宅団地が完成します。当時の団地は、平屋の一戸建や、２階建ての家が壁でつながっていたテラスハウスと呼ばれる家々でした。この団地が大人気だったため、昭和４０年には京成勝田台駅が作られて新たな住宅団地が生まれ、人口は４万人を突破します。その勢いを得て八千代は町から市となり大きな発展を遂げました。その後、昭和４５年の米本団地を皮切りに、高津団地、村上団地と５階建ての団地を中心とする公団住宅が次々と建てられ、ピーク時の昭和５０年代には人口増加率が日本でベスト３に入り、新しい小中学校が次々に開校しました。現在も東葉高速鉄道沿線の緑が丘やゆりのき台などに多くのマンション・一戸建てが次々に建設され、人口は２０万人に迫る勢いです。

１戸建て住宅団地（昭和３０年）

八千代市での多文化共生

八千代市役所　総合企画課

1．そもそも多文化共生って何だろう？

多文化共生をインターネットで調べてみると、**「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」**と言う結果が出ます。
何となくは分かると思いますが、簡単に説明しましょう。

2.八千代市の外国人在住の状況知ってる？

平成28年6月末現在での八千代市の人口は195,713人、そのうち外国人の方は4,257人。
比率にすると約2%で、わかり易く言うと100人に2人外国人の方が住んでいることになります。

八千代市の外国籍居住者　国籍別登録者数（人口上位順）

平成28年3月末日現在

順位	国　籍	男(人)	女(人)	小計(人)
1	中国	388	544	932
2	フィリピン	129	565	694
3	ブラジル	280	272	552
4	ペルー	202	177	379
5	韓国	127	233	360
6	ベトナム	170	170	340
7	ネパール	126	56	182
8	台湾	39	68	107
9	タイ	29	69	98
10	スリランカ	52	20	72
11	米国	31	25	56
12	インドネシア	33	9	42
13	インド	26	3	29
14	パラグアイ	17	12	29
15	バングラデシュ	16	4	20
	その他	148	91	239
	合　計	1,813	2,318	4,131

八千代市の外国籍居住者数（地区別詳細）

平成28年3月末現在

町名	男	女	計
村上団地	259	383	642
大和田新田	176	248	424
勝田台	156	192	348
米本団地	141	144	285
八千代台北	105	134	239
上高野	104	109	213
高津団地	105	105	210
八千代台南	76	112	188
ゆりのき台	89	88	177
八千代台東	72	101	173
勝田台北	61	105	166
八千代台西	65	75	140
大和田	59	67	126
高津	41	55	96
村上	35	50	85
緑が丘	33	46	79
勝田台南	31	39	70
萱田	20	47	67
萱田町	21	39	60
吉橋	31	24	55
村上南	16	28	44
高津東	9	32	41
米本	16	21	37
下市場	18	15	33
島田台	19	12	31
勝田	9	12	21
麦丸	11	9	20
島田	8	7	15
保品	10	5	15
桑橋	5	4	9
大学町	4	4	8
神野	6	2	8
平戸	2	1	3
桑納	0	2	2
下高野	0	1	1
真木野	0	0	0
神久保	0	0	0
小池	0	0	0
佐山	0	0	0
尾崎	0	0	0

3．みんなも国際交流を考えてみよう！

【国際姉妹都市交流】
市制施行25周年を記念し、アメリカ合衆国テキサス州タイラー市と教育・文化・経済等広く各分野の交流を通じ、両市民の相互理解と友好親善を深め、平成4年5月16日に姉妹都市提携を行いました。
タイラー市から英語指導助手4名を招致しています。

【友好都市提携交流】
八千代市とタイ王国バンコク都は、平成元年からこども親善大使の派遣・受け入れを通して交流を続けてきました。平成20年、この交流が20年を迎えるにあたり、こども親善大使による交流事業の継続と、教育・文化など多分野にわたる交流の推進を目指して、友好都市提携協定を締結しました。

政策を考えるためのヒント

○　すべてふたつの方向で考えることができます。
どちらが、未来の八千代市に合っているでしょうか。
どちらが実現しやすいでしょうか。

人が足りない？

「人を増やす」 か 「仕事を減らす」 か

人が余る？

「人を減らす」 か 「仕事を増やす」 か

お金が足りない？

「収入を増やす」 か 「支出を減らす」 か

場所が余る？

「活用する」 か 「壊してしまう」 か

○　できれば、ルールづくりまで、考えてみましょう。

人を動かす必要がある？

どのようなことをすれば人が動く（職を変える、住む場所を変える、など）のでしょうか。

- 税金を変える　・　義務づける　・　教育を変える
- 儲かるようにする　・　表彰する　・　情報を出す
- 場所をつくる　・　リーダーを育成する　　など

収入を増やす必要がある？

どのようなことをすれば収入が増えるのでしょうか。

○　未来（2040年）のために、今（2016年）からやっておいた方がいいことを探しましょう。

ワークショップについて

「ワークショップ」とは、みんなで作業をして、何かを生み出すことです。全員が参加できるように気配りしながら、楽しく話し合いをしましょう。

多摩美術大学でのワークショップ

○ アイディア出しのルール

① 質よりも量

不完全なアイディアでも、ほかの人が拾ってふくらませてくれるかもしれません。たくさん出すことが重要です。

② かわった意見、歓迎！

ほかの人が思いつかないような意見、斬新な意見、違った視点からの意見など、歓迎です。

③ 批判しない

アイディア出しの段階では、批判してはいけません。出した意見に責任をとらせることも厳禁です。自由なアイディア出しを損ないます。

④ ほかの人の意見と合わせて考える

ほかの人の意見を眺めながら、「このアイディアとこのアイディアを一緒にしたらどうだろう」と考えてください。

○ 発言のルール

① ほかの人の話に相づち・リアクション（反応）を！

コミュニケーションの基本はリアクションです。ほかの人の話に何か反応してあげてください。相づちでも、くりかえしでもかまいません。

② 大きな声で楽しく発言しよう！

発言するときには、班の仲間に聞こえるように大きな声で発言しましょう。紙に書くときにもほかの人に読めるように大きな字で！

③ 個人作業のときには、おしゃべりはしないで！

それぞれがアイディアを紙に書き出す時間には、おしゃべりしないでください。相談や議論は後で。

▷ 個人のアイディア出し

アイディア・意見を小さな紙（ポストイット）に書き出します。

- アイディアひとつにつき1枚使ってください。
- 名前を書く必要はありません。
- ほかの人にも読んでもらえるように大きな字で、できるだけ丁寧（ていねい）に書きましょう。
- のりがついているところが上になるように、のりがついていない方に書いてください。
- 紙の色は関係ありません。

▷ 個人のアイディアを模造紙に貼る方法

① 手元のカードを出す順番を決めます。

- 最初の順番の人だけ決めればOKです。

② 最初の順番になった人は、自分が書いたアイディアカードから、1枚選んで、模造紙に貼ります。

- どのカードでもかまいません。出すときに一言説明しながらだしましょう。

③ このとき、そのアイディアに似たアイディアカードを持っている人は、最初の人のカードの近くに貼ってください。

- カードは重ねないでください。模造紙のどちらかを上にして、見やすいようにきちんと貼りましょう。

④ その作業が終わったら、次の順番の人（最初の順番の右隣の人）が、自分アイディアカードから1枚選んで模造紙に貼ります。

⑤ ここからは、全員のアイディアが貼られるまで、同じ作業の繰り返しです。

千葉大学生が陸前高田市で行った聞き取り調査のとりまとめ

▷ チームのアイディアのまとめ方

① 模造紙には、似たアイディアが近くにとまって貼られていると思います。

② 模造紙にどのようにアイディア群を配置するのかを考えてください。

- 簡単にできそうなものは右、難しそうなものは左とか、個人向け、企業向けで分けるとか、年代で分けるとか、いろいろな配置方法があると思います。

③ だいたいの配置がきまったら、アイディア群を移動させて、見やすく配置してください。

④ 配置がきまったら、アイディア群を色マーカーで囲って、それぞれのアイディア群に名前をつけてください。

- マーカーで囲むのは配置が決まった後です。

やちよ未来ワークショップスケジュール

▷2016年11月23日（水・祝）

9:30　受付開始＠八千代市市民会館3階第3会議室
9:45-10:10　オリエンテーション（未来市長バッジ交付、アンケート回答、「仲良くなろう」）
10:10-10:35　未来シミュレーター結果
10:35-10:45　八千代市の農業
10:45-10:55　休憩
10:55-11:10　つながり調査結果
11:10-11:20　村上団地の現状と将来
11:20-11:30　八千代市における多文化共生
11:30-12:00　将来に残したい八千代市の歴史
12:00-12:15　質問票の書き出し

12:15-13:00　昼食

13:00-13:30　質問への回答
13:30-14:20　未来市長が直面している課題の書き出し（グループ作業）
14:20-14:30　休憩
14:30-15:20　未来市長から今の市長への提言項目の書き出し（グループ作業）
15:20-15:30　提言の優先順位付け
- シニアグループから「いいね」シールをもらいます。

15:30-15:40　休憩
15:40-15:55　提言発表の準備（個人作業）
15:55-16:15　未来市長から今の市長への提言発表・意見交換
- 市長が出席します。

16:15-16:30　終了式（アンケート回答）写真撮影

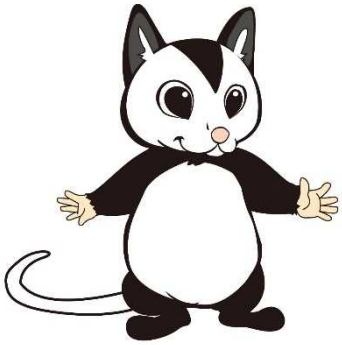
▷　ワークショップ当日の持ち物など

服装の指定はありません（報道機関が入る可能性があります。あらかじめご了解ください。報道に支障がある方については、写真に写りこまないようにするなどの配慮をいたします。事前にお申し出ください。）。

筆記用具をもってきてください。

お弁当は希望の方には主に八千代市の農作物でつくったお弁当を実費でご用意します。事前に伺います。

飲み物は水筒などに入れて持参いただいてもかまいません。



▷データ責任など

未来シミュレータ、現状比較などのデータは、千葉大学大学院人文社会科学研究科倉阪研究室OPOSSUMプロジェクトが責任を負います。地区別の将来地図（23,24,26ページ）は国立環境研究所のグループが、つながりに関するページ（21,22,25(下段）ページ）は芝浦工業大学のグループが作成しました。また、「八千代の歴史から未来を見つめる」のページ（27,28ページ）は八千代市郷土博物館、「八千代市での多文化共生」のページ(29ページ）は、八千代市総合企画課に作成いただきました。

OPoSSuM(オポッサム)とは、「多世代参加型ストックマネジメント手法の普及を通じた地方自治体での持続可能性の確保」（Open Project on Stock Sustainability Managementの頭文字をとって通称「OPoSSuM」)のことで、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が推進する戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発）「持続可能な多世代共創社会のデザイン」研究開発領域にて採択された3カ年のプロジェクトです。代表は倉阪秀史（千葉大学大学院人文社会科学研究科教授）。

人口減少・超高齢化社会において持続可能な社会を実現するためには、資本ストック（ひと・もの・しぜん・しくみ）を健全に維持し、継承することが必要であり、そのために、各地域の資本ストックの将来推移を予測し、さまざまな世代が主体的に参画しつつ、それらの適切な維持・管理・活用（ストックマネジメント）を進めることが求められます。

※詳細は　ホームページ： http://opossum.chiba-u.jp/

ZENRIN複製利用許諾番号　Z15LC　第134号

1885																																
1890																																
1895																																0
1900																															0	5
1905																														0	5	10
1910																													0	5	10	15
1915																												0	5	10	15	20
1920																											0	5	10	15	20	25
1925																										0	5	10	15	20	25	30
1930																								0	5	10	15	20	25	30	35	
1935																							0	5	10	15	20	25	30	35	40	
1940																						0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	
1945																					0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	
1950																				0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	
1955																			0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	
1960																		0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	
1965																	0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	
1970																0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	
1975															0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	
1980														0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	
1985													0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	
1990												0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	
1995											0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	
2000										0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105	
2005									0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105		
2010								0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105			
2015							0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105				
2020						0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105					
2025					0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105						
2030				0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105							
2035			0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105								
2040	0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105										
2045	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105											
2050	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105												
2055	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105													
2060	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105														
2065	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105															
2070	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105																
2075	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105																	
2080	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105																		
2085	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105																			
2090	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105																				
2095	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105																					
2100	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105																						
2105	65	70	75	80	85	90	95	100	105																							
2110	70	75	80	85	90	95	100	105																								
2115	75	80	85	90	95	100	105																									
2120	80	85	90	95	100	105																										
2125	85	90	95	100	105																											
2130	90	95	100	105																												
2135	95	100	105																													
2140	100	105																														
2145	105																															
2150																																
2155																																
2160																																
2165																																
2170																																
2175																																
2180																																
2185																																
2190																																
2195																																
2200																																
2205																																
2210																																

JST-RISTEX 戦略的創造研究推進事業（社会技術開発）「持続可能な多世代共創社会のデザイン」研究開発領域
「多世代参加型ストックマネジメント手法の普及を通じた地方自治体での持続可能性の確保」